



本格的な春の到来が目前に迫っています。青少年にとって春は、卒業・入学・進学・進級と、人間関係や生活環境が大きく変わる時期です。目には見えなくても、内面は大きな刺激や影響を受けて揺れ動いています。青少年は大人以上に敏感です。こういう時期だからこそ、交通事故や非行等の問題が起きないように、青少年の健やかな成長を見守っていきましょう。

子育てコラム

第57回(最終回)

学 び

ある日のイベントで、男の子が小さな花束はなたばを売っていました。自分で育てたお花だそうです。お客さんが来て「いくらですか？」と、聞きました。

男の子 「1万円です！」

お客さん「あら、残念。安くはならないの？」

男の子 「無理です！」

すがすがしいな・・・少年(笑)

いっしょに出店しゅってんしていたお父さんとお母さんが、値下げねさげを交渉こうしょうしましたが、キッパリとことわりきつぱり続行。

その後、何人か足を止めましたが、買う人はおらず・・・

男の子 「なぜ、みんな買ってくれないの？」

お父さん「値段ねだんじゃないかな？」

男の子 「1万円!？」

お客さんが来ました。

お客さん「1万円だと高く買って買えないんだけど・・・」

男の子 「この花束はなたばを買ったらだれにあげますか？」

お客さん「うちの子に」

男の子 「じゃー 50円！」



キターーーーーー！9950円の値引き！

その後、男の子は自分で、値札ねふだを50円に書きかえました。

男の子 「次は最初さいしよから50円！」

学んだな・・・少年！

無理強いをせず待った、お父さんとお母さん。自分の納得なっとくできる理由を見つけ、たくさんたくさんのことを学んだ男の子。

こんな一日も良いものです。

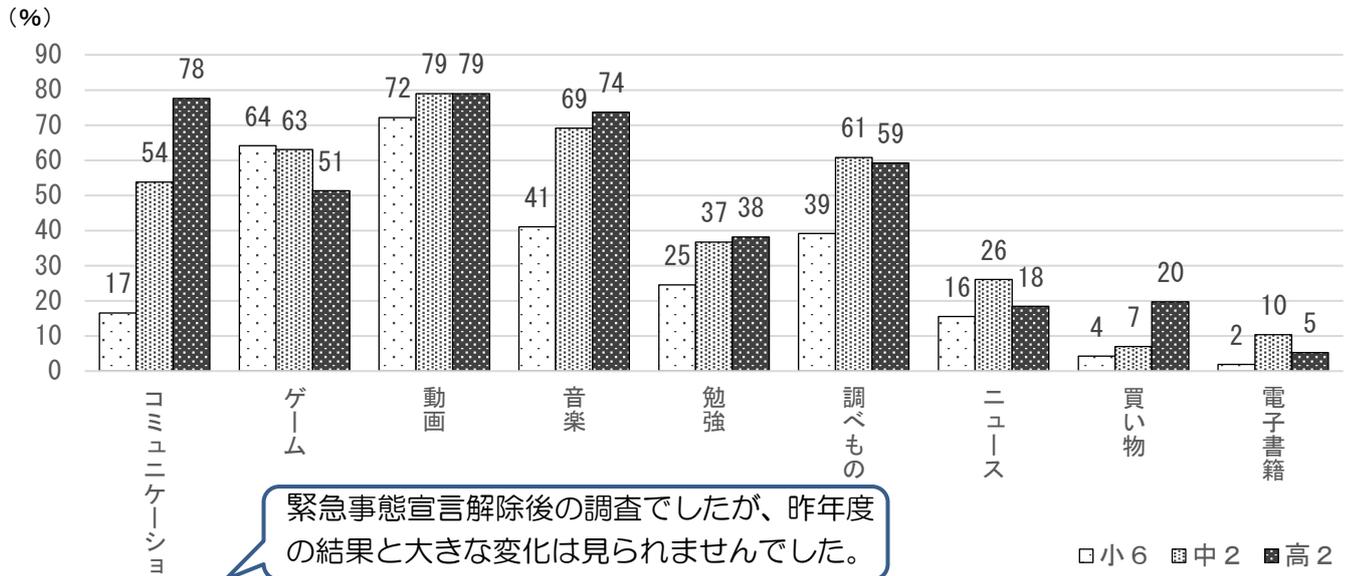
コラムニスト 静岡県子育てアドバイザー 小林 恵理

特集 富士宮市青少年のインターネットに関する実態調査の結果

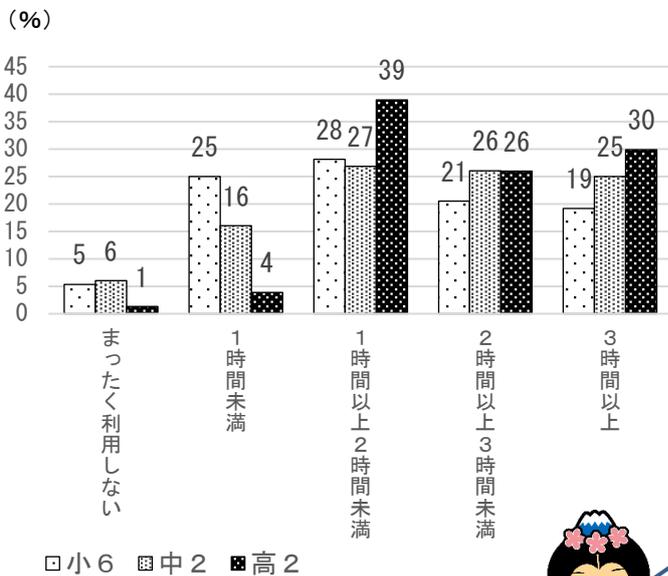
近年、スマホやゲームの低年齢化が進み、ますます進化していく情報機器です。昨年6月に、インターネットに関する実態調査を実施しました。一部の項目のみの結果ですが、内容をもとに御家庭でのルールづくりや見直しの参考にしてみてください。

調査対象者：小学6年生 224名、中学2年生 380名、高校2年生 77名

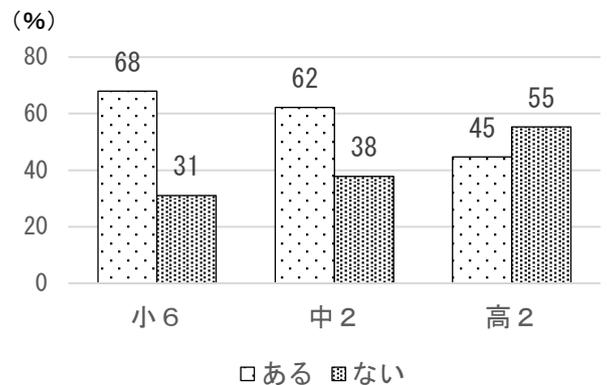
1 インターネットを利用してすること ※コミュニケーションとは、メール、ライン、SNS等の利用のことです



2 インターネットの利用時間(平日平均)について

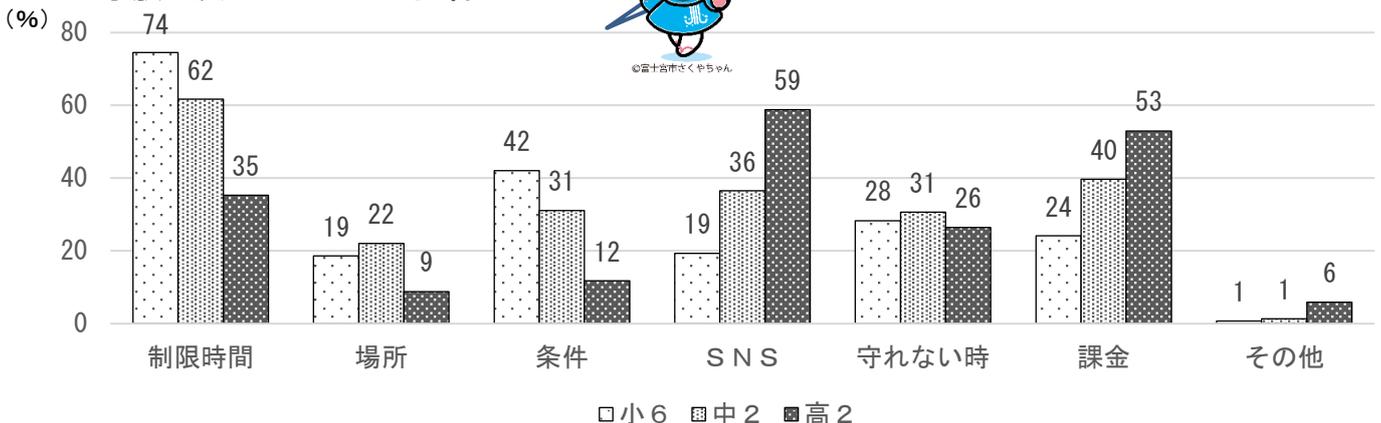


3 家族で決めたルールについて



条件とは、例えば「〇〇を終えたら」「〇曜日ならば」などがあります。各家庭で複数のルールを組み合わせ設定している人が多いようです。

4 家族で決めたルールの内容について



子どもがスマホやゲームに夢中になっていると、大人が利用時間や内容が気になってしまい、注意や小言を言ってしまいがちです。そうすると、スマホやゲームの利用の仕方が問題なのに、少しずつ親子関係に影響が出てくることもあります。子どもの健全育成のために、家庭でのルールづくりのポイントを実践してみましょう。

★ 家庭でのルールづくり・見直しのポイント ★



- ①保護者と子どもと一緒にルールを考え、子どもが決める！
- ②少し意識したり頑張ったりすれば守れるルールにする！
- ③ルールを書き出したなら目立つところに張り、毎日チェックできるようにする！
- ④お試し期間を設けて、守れるようなルールへ修正する！
- ⑤「守れなかったら…」というルールをつくるのと同時に、「守れたら…」というルールを設けると子どもは前向きに取り組みます！

「依存」に関する調査項目と結果です！家の人とチェックしてみよう。

調査対象者：小学6年生308名、中学2年生155名、高校2年生139名（「利用調査」とは別の児童生徒）
 ※このアンケートは、厚生労働省研究班が全国調査を実施した際の調査票をもとに作成しています。静岡県では調査票を引用し、「インターネット依存チェックシート」を作成しています。

No	質問 ※ゲーム機をよく利用する人は「インターネット」を「ゲーム」に置き換えてみよう
1	インターネットに夢中になっていると感じていますか。 ※例えば、前回インターネットでしたことを考えたり、次回することを待ち望んだりしている。
2	満足を得るためには、インターネットを使う時間をもっと増やしたり、だんだん長くしたりしていく必要があると感じていますか。
3	インターネットを利用する日数や時間を減らしたり、完全にやめようとしたりしたが、うまくいかなかったことがありますか。
4	インターネットの利用時間を短くしたり、まったく利用しなかったりした時、落ち着かない、不機嫌、落ち込み、いらいらなどを感じたりしたことがありますか。
5	利用する前に、利用する時間や目的などを決めたにもかかわらず、長い時間インターネットを接続した状態であることがよくありますか。
6	インターネットが理由で、大切な人間関係をこわしたり、勉強や部活動がうまくいかなかったりしたことがありますか。
7	インターネットへの熱中しすぎをかくすために、家族、先生、友人やその他の人にうそをついたことがありますか。
8	何らかの問題から逃げるために、または、嫌な気持ちを晴らすためにインターネットを利用したことがありますか。 ※問題とは、例えば、すべきことをしていない、学校での勉強がはかどらない、家族や友人とのもめ事などです。いやな気持ちとは、例えば、不安、いらいら、悲しみなどの気持ちや無力に感じたり、罪の意識を感じたりする気持ちなどです。

「当てはまる」を回答した段階別人数と割合

[当てはまる]の個数 判定結果	0～2個 大丈夫	3～4個 少し心配	5個以上 心配
小学6年生	219 (73.7%)	51 (17.1%)	27 (9.1%)
中学2年生	106 (68.4%)	34 (21.9%)	15 (9.7%)
高校2年生	66 (47.5%)	46 (33.1%)	27 (19.4%)

※判定結果は、あくまでも傾向を確かめるためのものであり、診断を確定するものではありません。

第3回 青少年相談センターってどんなところなの？

こんな相談を受け付けています。

- なんだか、最近不安なことばかりで、何事もやる気が起きないよ。
- 家から出たくない、学校(仕事)にも行く気持ちがおきないよ、学校(仕事)が遠くに感じるよ。
- 疲れやすいんだよな、どうしてかな、疲れてるのに眠れないんだよな…。
- ネットやゲームにはまってやる気がおきない、気になって夜も眠れないし朝も起きれないな。
- 友人関係がうまくいかないんだよな、話しかけ方がわからないよ、人に会うのが怖いよ。
- 自分の性別に違和感があるな。
- いじめられてるけど、誰にも言えないよ。
- 誰なら私に気づいてくれるの。
- さびしい、生きていくのがつらいな。
- 収入が不安定で先行きが見えないよ。
- 私なんか必要とされていないんだ。

こんなときは、22-0064

もしくは22-1252へ

適応指導教室に通う中3生徒 12月作文から

僕は去年、数か月間センターに通っていて、それから友達からの声掛けや先生方のサポートもあって学校に戻ることができました。でも、今年の9月頃にまたセンターに通い始めました。去年いた時より小学生が増えていたこともあって、少しにぎやかになっていました。それでも去年と変わらないセンターの温かさがあり安心でした。(中略)また、2学期は、馬の教室や富士山世界遺産センター見学など楽しいことがたくさんありました。

3学期は受験に向けて志望校の説明会で配付された過去問をやる事と、面接の練習をセンターの先生にやってもらい、受験を迎えたいです。

夜間開設をしています！

第2・4水曜は20時まで開設しています。電話相談、面接相談、見学等にご活用ください。

3/24 4/14・28 5/12・26 6/9・23 7/14・28

「ちょっといい報告」～青少年指導員の活動～

青少年指導員は、富士宮市の各区から128名が選出され、28の班に分かれて月2回の街頭指導を実施しています。

コロナ禍ではありますが、できる範囲で活動を行い、青少年の安全を見守っています。街頭指導は、補導が主な目的となりますが、犯罪抑止のために挨拶にも力を入れています。

今回は、令和2年度の報告書より、「ちょっといい報告」を紹介いたします。

・雨が降り始めたので中学校周辺の巡回とミーティングで終了とした。ミーティングにおいて大富士中及び大富士小の生徒が挨拶を元気よく進んでしてくれるようになったとの意見が出た。今後も挨拶運動を進めていきたい。(9/16 7班)

・以前と比べ、ショッピングセンター内で見かける小学生・中学生の人数はまだまだ少なくな感じます。数人の中学生が、こちらより先に挨拶してくれました。(9/26 27班)

・富士根南小学校グラウンドにて、サッカーをする女子中学生及び父兄に声掛け、あいさつ。(元気よくあいさつをしてくれた。)(1/27 17班)



★★★編集後記★★★ 「ともしび」といえば、小林恵理さんのコラム。第57回目を迎えましたが、今回が最終回となります。小林恵理さんには、長きに渡り、富士宮市の青少年健全育成のために、コラムを提供していただき、多くの読者の皆様に親しまれてきました。心温まるだけでなく、背中を押してもらっているようなコラム、そして、時にはっと考えさせられるコラムなど、毎回のコラムには、小林恵理さんの思いが詰まっていました。これまで読んでくださった読者の皆様、また、コラムを提供してくださった小林恵理さん、誠にありがとうございました。この書面を借りて厚くお礼を申し上げます。 文責：山村 明由